令和 7 年 12 月 2 日
戦略広報課　　中塚
076-225-1227（内 3351）

「応援消費おねがいプロジェクト」等の能登半島地震における広報活動が ＰＲアワード 2025 においてグランプリを受賞

公益社団法人 日本パブリックリレーションズ協会が実施するＰＲアワード 2025 において、本県の「応援消費おねがいプロジェクト」等の能登半島地震における広報活動がグランプリを受賞しました。（グランプリは全応募中１社のみの最高賞）

ＰＲアワードにおいて、石川県内の企業や自治体がグランプリを受賞するのは初めてとなります。

また、本グランプリと先般受賞したＡＣＣ賞マーケティング・エフェクティブネス部門のグランプリとのダブル受賞は全国でも史上初となります。

贈賞式は 12 月 10 日に、東京の時事通信ホールで行われる予定です。

１．ＰＲアワード 2025 審査結果（エントリー数 98 件）

【グランプリ】

石川県　ＰＲパーソンの未来予測を、災害対応に応用
「能登半島地震 命を守る災害対応リアルタイム広報」

２．今回受賞した本県の主な取組み

・能登半島地震対応における、ＳＮＳや動画などを活用した戦略的な情報発信
・無料ダウンロードのロゴマークを活用した「応援消費おねがいプロジェクト」の展開
・能登半島地震の経験・ノウハウをとりまとめ、他の自治体や企業などへ共有　等

３．審査委員長　審査講評

グランプリに輝いた「PR パーソンの未来予測を、災害対応に応用『能登半島地震 命を守る災害対応リアルタイム広報』」については、その「総合力」と「ベーシックの徹底」への評価が審査団をリードしました。「災害大国日本」において、行政がプロボノの専門家と連携し、デマや風評被害にタイムリーに対応することで、「命を守る広報活動」という PR の基本を高いレベルでやり切った意義は計り知れません。この活動が次世代の行政広報の「お手本」となり、未来の公共サービスを切り拓く「パイオニアシップ」の発露であることに、審査団全員の意見が一致しました。

（参考）

なお、今回のＰＲアワード 2025 において、珠洲市立大谷小中学校が「審査委員特別賞」を受賞しておりますので、あわせてご紹介します。

エントリー名称：能登半島地震の被災地で生まれたカプセルトイ 珠洲市立大谷小中学校 児童生徒 発案“OHTANI CHARM”

ＰＲアワードとは

・優れた PR 事例を選考・顕彰することで、PR の普及と発展に寄与することを目的に毎年実施しているアワード。
・1961 年に始まった「PR 活動顕彰」を前身とし、2001 年に「PR アワード グランプリ」としてスタートしてから今年度で 25 年目となり、今回から「PR アワード」に改称。